

政務活動費集計表(会派支出) R6年度

会派名 新 友 会 1月分

(単位:円)

研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費
0	670,470 /	18,085 /	0
広報・広聴費	人件費	事務所費	その他の経費
17,668 /	267,455 /	25,190 /	43,054 /
合 計			1,041,922

政務活動費支出命令書(会派支出)
新友会

会派名

支 払 日	令和 7年 1月 16日			
支 払 先	寺沢さゆり、小泉栄正、西脇かおる、松田光平、青木敏明、加藤英夫、本木晋			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	旅 費	新友会有志による行政視察 川崎・宮崎視察(R7.1.20~21)	627, 590円
	研 究 研 修 費		振込手数料	880円
	調 査 旅 費		※日本旅行手配済分 (JR切符代等、航空券代、宿泊代)	
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
	合 計			628, 470円

(領収書添付欄)

※当初、視察参加予定であった北沢哲也議員が私事都合により参加不可となったため、
規定の払い戻し手数料、取消手数料(JR切符代及び往復航空券に係る)が発生。

預金払戻請求書による振込受付書(兼手数料受取書)

振込金受取書(兼手数料受取書)

電信扱

依頼日	07 年 01 月 16 日										私は振込規定を承諾のうえ、以下のとおり振込を依頼します。									
お振込先	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ 銀行 信金 信組 農協他										振込金額 百億 十億 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 円 0 2 7 5 9 0									
	支店 (営業部) (出張所) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0																			
お受取人	預金種目 ☐ ① ☐ ② ☐ ④ ☐ ⑤ 普通 当座 貯蓄 その他										口座番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0									
	フリガナ カ・ニホンリョウコウ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0										おなまえ(漢字) (株) 日本旅行 様									
ご依頼人	フリガナ ナカノシキカイシン 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0										おなまえ(漢字) 長野市議会新友会 様									
	日中のご連絡先(電話・携帯番号) 026-(026)-(4911)																			

振込手数料 (消費税込)

領収済	後納	消費税率10%
振込金額 他金融機関あて 当行あて		
3万円 660円 330円		(左記以外)
0 880円 550円		0 0 0 0 円

◎振込先銀行への通知は、受取人名等をカナ文字により送信します。
 ◎振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
 ◎やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
 ◎手数料が後納の場合は、後日送付する手数料領収書をインボイスとします。

・お振込は便利でお得なATM振込をご利用ください。
 ・午後2時以降は窓口が大変混雑いたします。
 お振込はできるだけ午後2時までにご依頼ください。



登録番号: T3100001002833
株式会社 八十二銀行

4200②

発行日 : 2025年01月15日
請求No. SSN-4531-2025-00043

親友会 様

請求書 INVOICE

株式会社 日本旅行 長野支店
登録番号 : T1010401023408
〒380-0821
長野県長野市上千歳町1-13-23
リアライズ長野ビル1階
TEL : 026-232-6152
FAX : 026-232-4526
支店長 : 臺 容之
担当者 :



毎度格別なお引き立てを頂き有難うございます。
下記の通りご請求申し上げますので宜しくお願い致します。

ご旅行代金等 (円)	お預かり金額 (円)	ご請求金額 (円)
627,590	0	627,590

10%対象合計 (円)	内消費税額 (円) (10%対象)	8% (軽減税率) 対象合計 (円)	内消費税額 (円) (8%軽減税率対象)	免税事業者10% 対象合計 (円)	免税事業者8%軽減 税率対象合計 (円)	対象外合計 (円)	預り金合計 (円)
627,590	57,053		0				

日付	種別・摘要	数量	単価	金額	税区分等	備考
01/20	JR 代 (長野⇒津田山、津田山⇒川崎、東京⇒長野/指定席)	6	16,950	101,700	10%	
01/20	JR 代 (篠ノ井⇒津田山、津田山⇒川崎、東京⇒篠ノ井/指定席)	1	17,280	17,280	10%	
01/20	JR 代払戻料 (乗車券@220 × 3 枚、特急券 @340 × 2 枚)	1	1,340	1,340	10%	
01/20	乗車券代 (京急川崎⇒羽田第 1 ・第 2)	7	330	2,310	10%	
01/20	乗車券代 (羽田第 2 ビル⇒浜松町)	7	520	3,640	10%	
01/20	往路航空券代 (SNA65 / 特割 7 日前)	7	29,870	209,090	10%	
01/20	往航空券払戻料・取消手数料 (払戻料 1,360 円、取消手数料 440 円)	1	1,800	1,800	10%	
01/20	復路航空券代 (ANA 614 / バリユー 7)	7	27,570	192,990	10%	
01/20	復路航空券払戻料・取消手数料 (払戻料 2,000 円、取消手数料 440 円)	1	2,440	2,440	10%	
01/20	宿泊代 (ホテルマイステイズ宮崎 / 1 泊朝食禁煙シングル)	7	9,800	68,600	10%	
01/20	取扱手数料 (航空券発券手数料 1,100 円) 含む)	8	3,300	26,400	10%	

注) 税区分等欄の「8%※」は軽減税率対象、「免税10%」は免税事業者にかかる対象、「免税8%」は免税事業者にかかる軽減税率対象

【お振込先】 : みずほ銀行 普通

【口座名義】 : 株式会社 日本旅行

2025年01月16日までにお支払い願います。
※恐れ入りますが、振込手数料はお客様ご負担にてお願い申し上げます。

発行日 : 2025年01月17日
No. SSR-4531-2025-00032

新友会 様

領収証 RECEIPT

株式会社 日本旅行 長野支店
登録番号 : T1010401023408
〒380-0821
長野県長野市上千歳町1-13-7-23
リアライズ長野ビル1階
TEL : 026-232-6152
FAX : 026-232-4526
支店長 : 臺 容之
担当者 :

印紙税申告納
付につき日本橋
税務署承認済

下記の金額を正に領収いたしました。

金 額							
¥627,590							
10%対象合計	内消費税額(10%)	8%(軽減税率)対象合計	内消費税額(8%)	免税事業者10%対象合計	免税事業者8%軽減税率対象合計	対象外合計	預り金合計
627,590	57,053		0				
月 日	品 名					金 額	税区分
01/20	旅行代金として					627,590	10%

注) 税区分等欄の「8%※」は軽減税率対象、「免税10%」は免税事業者にかかる対象、「免税8%」は免税事業者にかかる軽減税率対象

<<支払種別>>

【現金】 : 0
【小切手】 : 0
【振込】 : 627,590
【クレジット】 : 0
【日本旅行ギフト券】 : 0
【日本旅行ギフトカード】 : 0
【ドリーム旅行券】 : 0
【デビットカード】 : 0
【他社ギフト券】 : 0
【自治体補助券】 : 0
【他社ポイント】 : 0
【企業旅行引換券・契約保養所】 : 0
【QRコード決済】 : 0
【コンビニ決済】 : 0

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支 払 日	令和 7年 1月 17日			
支 払 先	寺沢さゆり、小泉栄正、西脇かおる、松田光平、青木敏明、加藤英夫、本木晋			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	旅 費	新友会有志による行政視察 川崎・宮崎視察(R7.1.20~21)旅費	42,000円
	研究研修費			
	調 査 旅 費			
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人 件 費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計				42,000円
(領収書添付欄)				

川崎市 宮崎市
(川崎市子ども夢パーク) (宮崎市役所) ()
JR津田山駅 JR宮崎駅

＜1月20日、21日閑散期＞

鉄 道 ・ 船 賃	行 先	自 長野	東京	經由	川崎	經由	經由	至 津田山	運 賃	グリーン料金	
	路 程	222.4 km	18.2 km		13.9 km		km	km	254.5 km	4,510 円	0 円
	急行 料金	特別職	4,070 円		円		円		円	計 4,070 円	小計 特 8,580 円
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円		円	円	円
	行 先	自 津田山	經由	經由	經由	經由	經由	至 川崎	運 賃	グリーン料金	
	路 程	13.9 km	km		km		km	13.9 km	230 円	0 円	
	急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特 230 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	円	円	
	行 先	自 京急川崎	經由	經由	經由	經由	經由	至 羽田空港	運 賃	グリーン料金	
	路 程	10.3 km	km		km		km	10.3 km	330 円	0 円	
	急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特 330 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	円	円	
	行 先	自 羽田空港	經由	經由	經由	經由	經由	至 浜松町	運 賃	グリーン料金	
	路 程	17.0 km	km		km		km	17.0 km	520 円	0 円	
	急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特 520 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	円	円	
	行 先	自 東京	經由	經由	經由	經由	經由	至 長野	運 賃	グリーン料金	
	路 程	222.4 km	km		km		km	222.4 km	4,070 円	0 円	
急行 料金	特別職	4,070 円		円		円	円	計 4,070 円	小計 特 8,140 円		
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	円	円		
行 先	自	經由	經由	經由	經由	經由	至	運 賃	グリーン料金		
路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円		
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特 0 円			
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	円	円		
行 先	自	經由	經由	經由	經由	經由	至	運 賃	グリーン料金		
路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円		
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特 0 円			
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	円	円		
行 先	自	經由	經由	經由	經由	經由	至	運 賃	グリーン料金		
路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円		
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特 0 円			
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	円	円		
									計 特 17,800 円		
									—	0 円	
車 賃	自 至		円	自 至		円	計	円			
	自 至		円	自 至		円		0 円			
航 空 賃	自 羽田空港 至 宮崎空港		円	自 至		円	計				
	自 宮崎空港 至 羽田空港		円	自 至		円		実費	円		
日 当	定額1日	3,000 円		2.0 日		計 特 6,000 円					
	定額1日	円		日		—	0 円				
宿 泊 料	県内・県外 定額・指定1夜		円	夜		計 特 実費	円				
	県内・県外 定額・指定1夜		円	夜		—	円				
食 卓 料											
備 考	☒ 宿泊料は、一夜 定額14,800円(特別職)を上限とする実費。 ☐ 高級旅費(条例第22条) ☐ 調整(条例第24条第4号適用)									合計 特別職 23,800 円	
										一般職	
										円	
									会計課予備審査処理欄		

集合支払内訳書

事 由	氏 名	旅費受領額（円）	支払日
新友会有志による行政視察 （令和7年1月20～21日）	寺沢 さゆり	23,800	1月17日
行き先：（川崎、宮崎）	小泉 栄正	23,800	1月17日
	西脇 かおる	23,800	1月17日
	松田 光平	23,800	1月17日
	青木 敏明	23,800	1月17日
	加藤 英夫	23,800	1月17日
	本木 晋	23,800	1月17日
	◆航空賃…………… 実費		
	◆宿泊料…………… 実費		

合計	<u>166,600</u>
----	----------------

JR代金等

@ ¥17,800 (往復)

日当@3,000×2日

@¥6,000

行政視察報告書 (No.1)

令和 7 年 1 月 30 日

代表者 寺沢 さゆり 様

報告者氏名(代表) 西脇 かおる

次のとおり、視察をしましたので関係書類を添えて報告いたします。

1. 視察者氏名

寺沢 さゆり	小泉 栄正	松田 光平	青木 敏明
加藤 英夫	本木 晋	西脇 かおる	

2. 視察期間

令和 7 年 1 月 20 日 ～ 令和 7 年 1 月 21 日

3. 視察先・視察事項・選定理由

視 察 日 時	視 察 先	視 察 事 項 及 び 選 定 理 由
7 年 1 月 20 日 15 時 00 分～17 時 00 分	川崎市子ども夢パーク	・子どもの権利条例について ・子ども条例及び子どもがおりのままに過ごせる居場所 として施設の在り方を学ぶため
7 年 1 月 21 日 10 時 00 分～12 時 00 分	宮崎市役所 スポーツランド推進課	・スポーツを軸としたまちづくりについて ・総合スポーツ戦略都市みやざきを目指した取組みに ついて ・スポーツキャンプの聖地の取組みを学ぶ
年 月 日 時 分 ～ 時 分		
年 月 日 時 分 ～ 時 分		

1月20日～21日 川崎市・宮崎市視察報告書 西脇かおる

1月20日川崎市子ども夢パーク

子ども夢パークは、約1万㎡の広い敷地内にプレーパーク（冒険遊び場）と2階建ての建物に様々な部屋がある

施設設置者・所有者は川崎市。所管課はこども未来局青少年支援室

指定管理者は川崎市子ども夢パーク共同運営事業体（（公財）川崎市生涯学習財団と認定NPO 法人フリースペースたまりば）

子どもの権利条例について

条例制定後は子どもに優しいまちづくり事業に参画する意気込みが必要

<https://www.tomiya-city.miyagi.jp/kosodate/cfci/tomiya-cfci.html>

川崎市で条例制定まで何年もかけ会議を重ねた。子ども委員の参画が必須で大人の2倍の子どもの人数で行われた

オンブズパーソン制度の意義

オンブズマンは大人向けになるためこれとは別に子どもの権利として必要

実効性を担保するためには

条例に魂を入れることが大切。

条例によって、どんなまちづくりをしていきたいかが重要

全ての部局の施策が子どもの権利条例に則っているかチェックする必要がある

子どもの意見表明、川崎市は川崎市子ども会議を18歳以下の市民が参加し開催している

川崎市では、子ども権利委員会があり市長が諮問3年毎に報告している

市の施策を市長が18歳以下にも聞きまちづくりをしていく

子どもが政治に参加する子ども市民がまちづくりに参画し市政に関わる市民を育てていくことが大切

学習権の保証も盛り込むことが可能になれば大変画期的

所感

私は、今回で夢パーク2回目の訪問をさせていただき、理解を深めることができた。

本市の条例を形だけのものとせず実効性が伴う条例となるよう、今回お聴きしたアドバイスを盛り込み長野市らしい条例になるよう取り組みたい。特に市の施策を市長と18歳以下の市民が意見交換や共有する場を設ける事を期待する。「まず、おとなが幸せにいてください。おとなが幸せじゃないのに子どもだけ幸せになれません」の言葉を胸に刻み取り組む。

1月21日 宮崎市観光商工部 スポーツランド推進課

総合スポーツ戦略都市みやざきを目指した取組について
スポーツキャンプの聖地

スポーツランドみやざきの推進

●プロ野球やJリーグ等のプロスポーツキャンプの受入態勢の充実を図るとともに、プロゴルフトーナメント等のプロスポーツイベントの開催を支援するなど、スポーツランドみやざきの認知度の向上と誘客の促進。

●温暖な気候や恵まれた自然、スポーツ施設などの良好な環境を国内外に発信し アマチュアスポーツ大会や合宿を誘致するなど「総合スポーツ戦略都市みやざき」の取組を推進

●プロスポーツやアマチュアスポーツの大会、合宿等による誘客と、観光資源が連携したスポーツツーリズムの取組を推進します。

*総合スポーツ戦略都市みやざきとは地域経済の活性化や市民スポーツの向上等のために、戦略的に施策や事業を推進していくという都市イメージを表現したもの。

スポーツランド推進課の体制

職員数 21名 2013年4月 機構改革により、観光商工部にスポーツランド推進室が設置される。2017年4月 機構改革により、スポーツランド推進室からスポーツランド推進課へ名称が変更になる。同時に、地域振興部文化スポーツ課の市民スポーツ推進係とスポーツ施設係が統合される。2022年4月 機構改革により、課内に国民スポーツ大会準備室が設置される。2024年4月 国民スポーツ大会準備室が独立し「国スポ・障スポ準備課」となる。学校体育館もスポーツランド推進課が担当

1つの自治体で日本プロ野球3球団がキャンプをするのは宮崎市だけ

■読売ジャイアンツ 宮崎県総合運動公園 サンマリノスタジアム他 R6.2.1～2.14

137,000人 (124,600人)

■福岡ソフトバンク ホークス Soft Bank HAWKS 生目の杜運動公園 アイビススタジアム他 R6.2.1～2.29 269,000 (251,000人)

■オリックス・バファローズ オリックスバファローズ 清武総合運動公園 SOKKEN スタジアム他 R6.2.2～2.29 247,196人 (207,000人)

合計 653,196人 (582,600人)

経済効果

2024 年春季キャンプ（1 月～3 月） ・観客者数 75 万人 ・経済効果 107 億円 ・PR 効果 61 億円

侍ジャパン宮崎キャンプ観客者数 18 万人 経済効果 122 億円 ・PR 効果 51 億円 ※期間：令和 5 年 2 月 17 日～27 日

2023 年春季キャンプ（1 月～3 月） ・観客者数 86 万人 ・経済効果 118 億円 ・PR 効果 102 億円

官民一体となった受け入れ体制

県が窓口となり、宮崎県観光協会・市町村観光協会、市町村、宿泊施設、県内競技団体、競技施設と連携。1 チーム毎に実行委員会を設立する。市長が実行委員長、協力会 30 名ほど 県・県観光協会との連携強固にし実行部隊は宮崎市職員

県観光協会との連携を密にしたことで推進を加速した

スポーツに適した気象条件、環境、食事が良い、優れたアクセス（羽田空港から 90 分 1 日 18 本）

スポーツ推進課予算約 15 億（誘致係予算 3 億）

キャンプ受け入れ補助事業・開催支援事業・大会関連事業

儲けの少ない事業も開催することで信頼関係を築き WBC もキャンプきた

プロ野球 7 球団、J リーグ 18 チーム 2024 年春季キャンプ実績

【野球】 読売ジャイアンツ オリックス・バファローズ

【サッカー】 鹿島アントラーズ (J1) 徳島ヴォルティス (J2) 横浜 F・マリノス (J1) ツエーゲン金沢 (J3) アビスパ福岡 (J1) 横浜 FC (J1) 福岡ソフトバンクホークス ベガルタ仙台 (J2) FC 岐阜 (J3) サンフレッチェ広島 (J1) ファジアーノ岡山 (J2) セレッソ大阪 (J1) 大分トリニータ (J2)

日本代表チーム実績

トライアスロン パラトライアスロン 競歩ナショナルチーム 短距離チーム

スピードスケート ナショナルチーム ソフトボール 全日本女子 シーガイア ゴルフ ナショナルチーム 野球 日本代表（侍ジャパン） バレーボール 全日本男子 ラグビー 日本代表 サッカー 日本代表（A 代表・U19・U17・U19 女子等） アンプティサッカー デフサッカー ウェイトリフティング 女子ナショナルチーム 自転車 ナショナルチーム

ソフトテニス 日本代表

スポーツ等合宿の特典

◆贈呈対象

- ①スポーツ等合宿を実施する県外のアマチュアスポーツ等団体
- ②スポーツ等合宿を実施するプロまたはナショナルチーム

◆合宿の特典

【アマチュアスポーツ等団体】 ①宿泊費補助 上限 10 万円 市と県別・両方からもらうことができる ②バス送迎補助金 ③宮崎県特産品もしくは飲料の贈呈（宮崎牛・ブランドポーク・みやざき地鶏・宮崎特産フルーツ・飲料）（1つを選択する）

【プロまたはナショナルチーム】 ・宮崎県特産品の贈呈（宮崎牛・ブランドポーク・みやざき地鶏・宮崎特産フルーツ・飲料）

上限 10 万円 市と県は別々にあり両方から特典が受けられる

所 感

宮崎市が取り組む「総合スポーツ戦略都市みやざき」の推進は、地域の強みを活かした戦略的な施策であり、非常に効果的かつ意義深いものだと感じた。この取り組みは、宮崎の温暖な気候や自然環境、充実したスポーツ施設といった強みを最大限に活用し、スポーツキャンプや大会の誘致を通じて地域経済を活性化させるという、明確なビジョンに基づいている。特に、プロ野球 3 球団の春季キャンプや J リーグのチームキャンプなどが 1 つの自治体内で行われている点は、全国でも稀な事例であり、宮崎市のスポーツ推進力の高さを物語っている。観客動員数や経済効果の数字を見ると、この取り組みが地元経済や観光振興に大きく貢献していることが明確で、スポーツを通じた地域ブランディングにも成功している。

また、アマチュアやナショナルチーム向けの特典や補助金制度も充実しており、国内外（韓国・台湾からも積極的に誘致）からのさらなる誘致を後押しする体制が整っている。

官民一体となった受け入れ体制の構築や、地元自治体や観光協会との連携強化も、この取り組みの成功を支える重要な要素。地域全体でスポーツ振興を支える姿勢は、訪問者に対して好印象を与えるだけでなく、市職員、地域住民にも一体感や誇りをもたらしめていると感じた。施設を市民が使えないといった苦情も一部ある。

さらに、ナショナルチームやプロスポーツ団体との信頼関係を築くために、収益性が低い事業にも積極的に取り組む姿勢は、長期的な観点からも非常に意義深い。このような誠実な取り組みが、侍ジャパンや WBC などの大規模イベント誘致につながっている。

本市もスポーツを通じた地域振興をさらに進めポジティブサイクルをまわすことで、地域経済を活性化するとともに国内外における認知度を向上し、観光や移住促進など多方面での発展が期待できる。J リーグのシーズン以降は本市にとって大きなチャンスと考える、（開幕直前の期間）まず体制を整え、県や観光協会との連携見直し強化し、取り組むよう注力したい。

視察報告書

議員名：寺沢 さゆり

日程：令和7年1月20日（月）～1月21日（火）

<内容>

1日目 「川崎市子どもの権利に関する条例と子ども夢パーク、たまりばの取組」

認定NPO法人 フリースペースたまりば理事長 西野 博之 氏

子ども権利条例をもとに、1988年より子ども市民とおとな市民が行政と一緒にって策定に取り掛かり、2年間に200回以上の会議と集会を開催して2000年12月に川崎市子どもの権利に関する条例が出来上がった。条例の具現化を目指して「川崎市子ども夢パーク」を工場跡地に2003年にオープンさせた。子どもは生まれながらに一人の人間であり、権利の主体である。（大人よりも劣った存在として差別されない）自分の権利が保障されるためには、他の人の権利も同じように大切にされなければならない。（権利の相互尊重）という考え方の下に作り上げられた。そして第27条の「子どもには、ありのままでいること、休息して自分を取り戻すこと、自由に遊び、もしくは活動すること、または安心して人間関係をつくりあうことができる場所（以下、「居場所という」）が大切である・・・」を具現化するために「川崎市こども夢パーク」を作るために子どもの声を聴く子ども主体のワークショップを開き子ども夢パーク運営準備委員会をつくり「やってみよう」ことに挑戦できる環境づくりを進めてきた。子どもにとって「遊ぶ」とは「生きることそのもの」である。おとなたちの不安が子どもたちを追いつめる。だから親の支援が必要。不登校児童生徒を「学校嫌いな子」と決めつけないで欲しい。「学校が安全で、安心して、楽しく学べるなら、学校に行きたいんだよ」という子どもたちの声。平成28年12月に「教育機会確保法」が成立し、学校以外の学習活動の場の重要性、休養の必要性が認められるようになった。子ども夢パークにも「フリースペースえん」があり、基本理念として「生きている」ただそれだけで祝福される「自己肯定感を育む居場所づくり」を心掛けている。大人のよかれは、子どもの迷惑！「良くしよう」というおとなのアドバイスが子どものやる気を奪っている。今、重要な教育施策の転換期に来ている。1人ひとりの背景やニーズに合わせた多様な学びと育ちを保障する環境づくりが求められている。「医療モデル」より「社会モデル」へ。大丈夫のタネをまこう！

所感

説明をしてくださった西野理事長の子どもたちへの熱い思いに大変感動した。子ども夢パークは一昨年NHK「72時間」という番組で大賞となった作品の場所。小学校で困った子というレッテルを張られて学校には通えなくなってしまった子どもが主人公だが、この子は本当は困った子ではなく困っている子だった。そして西野さんたちがこの子の良いところに気づきそこに焦点を当てたところ素晴らしい才能を出したというもの。ここに来ていた子どもたちの様子を観察しているとみんな何かに真剣に取り組んでいてとてもいきい

きしていた。自分の「やりたい！」を見つけて取り組むことができる環境はとても重要だと感じた。また、「子どもの人間としての大切な権利」を守るためにはこども権利条例が必要ということも改めて理解した。長野市の子どもたちの「こどもの時間」を守り子どもが安心して生きられるよう努力していかななくてはならないと強く感じた。最後にお話の合った子どもたちからのメッセージ「まず、おとなが幸せにいてください。おとなが幸せじゃないのに、子どもだけ幸せにはなれません。・・・」に、子どもだけでなく子どもが育つ環境の一部であるおとなに対しても考えていかなければならないと感じた。

2日目 「スポーツランドみやぎの推進について」

宮崎市商工観光部スポーツランド推進課主幹兼誘致係長 安藤 長 氏

宮崎市商工観光部スポーツランド推進課主査 俵迫 久美 氏

宮崎市は、人口39万5千人の中核市。平均気温17.7℃、快晴日数53日、日照時間2122時間と温暖な気候と宮崎牛、宮崎地鶏、海産物などの食も豊富にあり練習に集中でき、心身共にリラックス・リフレッシュが可能な合宿環境と飛行場から近いという優れたアクセス環境を活かしてスポーツ合宿誘致に力を入れている。総合計画にも位置づけ、宮崎市のR6年度の一般会計予算は1840億円の内スポーツランド推進課（誘致係）の主な事業に14億8千万円の予算を付け、キャンプ受け入れ事業やスポーツイベントに補助金を出している。2024年の春季キャンプの実績は、プロ野球3球団、Jリーグ12チームで、観客者数75万人経済効果は、107億円、PR効果は61億円となっている。学校のグラウンドも教育委員会が管理するのではなく、スポーツランド推進課が管理している。それぞれのプロチームキャンプに対してひとつずつ実行委員会を作り受け入れについて対応している。そこには宮崎市観光協会をはじめとして宿泊施設、競技団体など36人くらいの体制で進めている。今までこのようにキャンプ地を選んでもらえるのは長い間に築き上げてきた信頼関係が大きい。2026年リーグから今の2月スタートの12月終了が8月スタートの5月終わりのシーズンとなるが、屋内スポーツ施設が少ないため雨が降るシーズンはキャンプの受け入れは難しい。市民の関心は、長く続けているのであたりまえという雰囲気がある。国民スポーツ大会を2年後に控えているので子どもの育成にも力を入れている。議会としては、観光スポーツ議員連盟を作り大会のチケットを購入したりいろいろなイベントに顔を出したりしている。

所感

視察をさせていただいた日も最低気温6℃最高気温16℃くらいと1月中旬としては大変暖かく、1年を通して温暖な気候であることを実感した。フィジカルトレーニングに最適な環境であり、今のところスポーツ合宿の一位は沖縄だが、担当者の追いつき追い越せという意気込みを感じた。長野市としてもJリーグのシーズン変更をチャンスととらえ、6月から8月くらいにスポーツ合宿を受け入れする体制を整えていく必要があると感じたし、民間の関係団体と実行委員会を作って対応することを想定しての話し合いを早い段階

からしておくことも必要だと感じた。議会としてもスポーツ議連をつくり長野市内を本拠地とするプロスポーツのみならず、このプロスポーツのこのチームに来て欲しいというターゲットを絞り、合宿誘致に向けて応援していく体制を作っていくことも必要ではないかと考える。いずれにしてもスポーツ合宿の聖地である宮崎市に今後も様々な教えていただけるようなつながりを作っていく必要があると感じた。

行政視察報告書 (No.2)

(視察参加者必須)

報告者氏名 小 泉 栄 正

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
1 月 20 日	川崎市 川崎市子ども夢 パーク	○川崎市子ども夢パークについて この施設は「川崎市子どもの権利に関する条例」を実現する施設として、2003 年 7 月にオープンし、2006 年 4 月から指定管理制度を導入し、「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」が管理運営を行っている。 施設の開所時間は午前 9 時から午後 9 時まで 休所日は月 1 回(第 3 火曜日)と年末年始 職員は所長以下 18 名で運営している。 運営は常に子ども主体であり、子ども自身による自主的な運営、子どもの権利を全面的に保障し確保する運営が行われている。 不登校児童生徒支援の中間教室として「フリースペースえん」が運営されているが、安心して過ごせる居場所、さまざまな子どもの学び・育ちを支援する柔軟な対応、保護者等の支援、個々の子どもの最善の利益の保障と運営方針として、特色ある中間教室運営がされている。 子どもたちののびのびとした活動に驚かされた。 川崎市は子どもの権利条例策定にあたって子供たちと意見交換を行い権利主体としての「子どもの最善の利益」をすべての子どもが享受できることを目指し条例が制定され、条例の具現化を目指した川崎子ども夢パークであり、全てのことが子ども中心の施設である。 ○川崎市子どもの権利に関する条例 川崎市子どもの権利に関する条例は 1998 年に着手し 2001 年に施行されている。 策定にあたっては大人とともに子どもの意見を聞き市民・子供の意見を集約して制定に取り組んだとのことである。 条例策定の流れ 着手 → 川崎市の現状と課題探る → 焦点化 → 条例骨子案 → 答申案 → 条例 → 施行 この条例骨子案ができるまで常に子どもたちの意見・提案がなされている。 このような過程で制定された川崎市子どもの権利に関する条例は子どもたちの意見が反映されている条例となっている。

月 日	視 察 先	視察結果（参考となった事項、考察）												
1 月 21 日	宮崎市 宮崎市スポーツランド推進課	○スポーツランドの取り組みについて 宮崎市の人口は 39 万 4 千人である。 恵まれた自然環境を生かし、「総合スポーツ戦略都市みやざき」を目指して「スポーツランドみやざきの推進」に取り組んでいる。 主な内容は *プロ野球、J リーグ等のプロスポーツキャンプの受け入れ態勢の充実。 *プロスポーツイベントの開催支援 *恵まれてスポーツ環境を国内外に発信し、合宿等を誘致。 *スポーツと観光資源を連携し、誘客に結び付けるスポーツツーリズムの取り組み。 この取り組みを進めるため、総合計画に「スポーツランドみやざき」の推進を位置づけ、スポーツランド推進課を庁内に設置し 21 名体制の職員でスポーツを軸とした街づくりを進めている。 プロ野球春季キャンプで 3 球団がキャンプするのは、地方自治体の中で宮崎市だけとのことである。その経済効果は、 <table> <tr> <td></td><td>2023 年</td><td>2024 年</td></tr> <tr> <td>観客数</td><td>86 万人</td><td>75 万人</td></tr> <tr> <td>経済効果</td><td>118 億円</td><td>107 億円</td></tr> <tr> <td>PR 効果</td><td>102 億円</td><td>61 億</td></tr> </table> スポーツキャンプ・合宿の受け入れ態勢は官民一体となった実行委員会を団体ごとに結成し対応している。 これによりスムーズに動く体制が整っている。 多くのスポーツ団体がスポーツキャンプに宮崎市を選ぶ理由は、スポーツキャンプに適した環境(練習に集中でき、心身ともにリラックス・リフレッシュが可能な合宿環境がある。特に自然、食事に代表される。 また、アクセス環境の良さもその一つである。 首都圏から宮崎、空港からキャンプ地誘致にも積極的であり、誘致関係予算は 296,000 千円である。 宮崎市は自然環境・キャンプ環境・アクセス環境などの条件が優れているが、行政主導で、受入環境の充実とスポーツを契機とした地域活性を目指して、官民一体となった積極的受け入れ態勢と充実した取り組みがされている。		2023 年	2024 年	観客数	86 万人	75 万人	経済効果	118 億円	107 億円	PR 効果	102 億円	61 億
	2023 年	2024 年												
観客数	86 万人	75 万人												
経済効果	118 億円	107 億円												
PR 効果	102 億円	61 億												

行政視察報告書 (No.2)

報告者指名 松田 光平

月 日	視察先	視 察 結 果 (参 考 と な っ た 事 項 、 考 察)
1 月 20 日	川崎市子ども の権利条例	川崎市子ども夢パーク 西野さん 川崎市子どもの権利に関する条例の（第27条子供の居場所）に基づいて子ども夢パークを作った 「第27条 子どもには、ありのままの自分であること、休息して自分を取り戻すこと、自由に遊び、若しくは活動すること又は安心して人間関係をつくり合うことができる場所（以下「居場所」という。）が大切であることを考慮し、市は、居場所についての考え方の普及並びに居場所の確保及びその存続に努めるものとする。 市は、子どもに対する居場所の提供等の自主的な活動を行う市民及び関係団体との連携を図り、その支援に努めるものとする。」市会議員全員賛成して平成12年12月制定 平成12年頃の社会は子どもの権利を守ると云えば、権利を教える前に義務を教えろという考え方が多かった。2年間で200回の会議を開催し、死にもの狂いで条例を作った。 子供の声を徹底的に聞いて作る事にこだわり、子ども主体のワークショップを7回開催し、条例を作った。長野市でも条例を作るに当たって子どもの声を聞く事が大切。夢パークの庭を作るに当たっては、参加した子どもの総数287人アンケートによるヒアリングは1,700人に及んだ。 推進委員作業部会、子ども・地域青少年団体、保護者も参加することで大人の意見に押し切られないように、子どもの数を大人の2倍にした。 夢パークの建設には、当初工場の跡地を取得し図書館を作る計画だった場所が、バブル崩壊によって図書館建設を断念したことで、子ども夢パーク建設場所となり、駅前の小学校を会場に、夢パークの建設について子どもたちが自分でワークショップを開催し、夢パークの企画・建設にあたった。遊具など広場の建設も子どもたちが行っている 質問 回答 オンブズパーソンが実際に救済した事例はあるか？ 弁護士が作るオンブズパーソン事務局ではないから詳しくわからないが、先生たちからの虐待や体罰などのハラスメントに対する問題解決にオンブズパーソンが活躍していると聞いている。教育現場はオンブズパーソン制度が出来たことを強く拒否していた 条例作りが上手くいっていないならば、それぞれの条例を制定した自治体がある。例えば、こどもの権利を入れずに条例を作る自治体が多いが、世田谷区など権利を入れて作り直した事例もあり、直接世田谷区に問い合わせるのもよい。 2023年国連では、子どもの権利を尊重することを義務付ける勧告が出されて

質問 回答	いるので、反対派を説得し、子どもに優しいまちづくりをしてほしい。 実効性を担保できるような 作り方について伺いたい？ 条例に魂をいれるために、どんなまちづくりをするための権利条例なのかを主眼に話し合いを進め、子どもの権利を大人に都合よく曲解される事が多いので子ども権利委員会ができ、市長が3年毎に市民に説明をする義務を要している街づくりが子どもの権利に寄り添って進められるか部局毎に評価を受けているので市政に実効性を持って取り組む制度。あらゆる事に子どもの権利を聞き施策に生かせるように長野市でも実効性の担保を考えるべき 子どもの意見表明を最重要視する、子ども会議などを通じて述べる事を行ったところ学校の理解は得られなかった。生徒会活動があるのだから、子どもの意見を十分聞いているというもので、新たに作る必要がないといわれるが、生徒会は優等生がいい高校や大学に進学するためのよい子の意見だけを聞いている状況。 川崎市では、あらゆる子どもに参加してほしいので、電車賃と弁当を提供するための予算措置がなされ、ご飯が食べられない子どもたちが集まり、権利が侵害されている子どもたちが集まった。 良いこどもの、良い家庭での暮らしでは本当の子ども条例を作れない。権利侵害を受けている子どもたちの生の声を聞かなければ、子どもの権利条例は作れない
質問 回答	子どもの意見を聞くといいながら、先生の思いや親の意向が子どもの意見表明にならないようフィルターを排除する手段は何か？ 学校の教員が「子どもの声を聞いている」となりがちだから、ファシリテーターが重要で、どんなファシリテーターが入るかで子どもの本音が聞くことができる。世田谷などではNPOのファシリテーターに入ってもらった。学校現場や親の都合の良いことを考える人を入れるべきではない。子どもに寄り添う人が入るべき。静岡で土肥の若い人たちが声を聞くワークショップの事例もあり、長野市でもそれなりのワークショップで子どもに寄り添える人がファシリテーターとして入ってもらい、学校に都合の良い意見が出にくいようにする。
子ども夢パーク	朝9時から午後9時まで毎日開いていますというコンセプトで始まった。庭や雨の日は屋内広場、ラケットやスポーツ道具はすべて無料、家でゴロゴロしていると親に叱られるが寝そべて遊べる部屋や音楽スタジオがあり、何でも自由に出来、教育委員会の施設として出来た子ども夢パークでは禁止事項がない。子どもの育つ三要素「遊んで育つ」「学んで育つ」「手足を使って育つ」3つの輪の中で育つ環境作りを行っている。子どもたちがやってみたいことが出来る、怪我をしたら自分で親に迎えに来てもらう、治療費は自前という施設。しかし20年の間、訴訟は一切起きていない。リスクとハザードという二種類に分けて子どもたちに教えている。しっかり工具を持ち材木を固定しないと怪我をする。ハザード、見えない危険を、失敗を通して子ども自身が気づく事で知恵と力がつく。 材木が腐っている遊具で遊んでいたら倒れる事態を、子どもは予想が出来ない

	ので、朝夕のチェックは（スタッフが）徹底的に行っている。 人類は火ともに生きてきた為、火を使うこと、工具を使ってものを作るということに自治体がやっと気づき始めた。なぜなら、南海トラフや首都直下地震が起きたとき、誰が炊き出しをするのか、火を付け炊き出しをする、工具を持って修理が出来る子どもを育てていない。（夢パークでは）自分たちで火を使い炊き出しをし、道具を使って作ることを大切にしている。 子どもの為、良かれと思って大人が子どもたちの自由な時間を奪っている。子どもはそれをストレスに感じている。ミヒヤエル・エンデ「モモ」の女の子のように子どもの時間が盗まれている。子どもにとって遊ぶことは生きること。医師会が作ったポスターで「遊びは子どもの主食です。」 長野は自然環境に恵まれ、外遊びをどんどん出来る環境作りが必要。 文科省の委員を務めているときには、2030年には単純作業の半分がなくなるといわれていた。AIが人間の知能を超えて、人工知能やロボットが50%の労働力を担う時代になる。そのときに子どもたちに求められる力は何かと考えると教科書を覚えて難しい計算が出来る子どもなのか、これから優等生の概念が大きく変わって来る時代。 これからは、数値に出来ないテストでは計れない力、つまり非認知能力を高めること。人間として生きていく力、目標に向かって切り開く力、人と上手く関わる、困難から立ち直る力は教科書を読んでもわからない。 今危惧されているのは、機械の暴走やAIが勝手に戦争をする事を危惧している。しかし、それを止めるのは、感情を持った人間にしかできない、機械を使いこなす力、そして予測しない事態が起きたときに考えて解決していく力が必要で、長年不登校の子どもたちを見てきた経験で、安心して失敗できる力を育てる環境づくり、できないことを受ける力が学校現場に求められる。 不登校対策で必要なのは親の支援対策。不登校で高校行かず社会でどうやって生きていくのかと不安だから親を追い込んでしまう。 親に大丈夫・安心を伝えるために出版した「学校にいかない子どもが見ている世界」に親としての考え方を書いた。私が不登校の子ども4~5千人見てきたけれど「学校が安全で安心して楽しいところなら行きたい」と思っている子どもばかりで、学校現場では子どもの安心と安全を最優先に考えてほしい。 いじめのピークは小学二年生です。学校入学前からストレスを感じ続けているので「学校が怖い」「いじめられる」と恐怖を感じている。だから学校を安全・安心・楽しい場所に変えれば良いが実現できていない。 教育機会確保法が出来たことで長野市もSaSaLANDを作り、学校に行けない子どもを受け入れている。SaSaLANDに行けない子どもも居る。全国で、タブレット学習の出席扱いは、文科省が認めたことで一万件を超えた。 どんな子どもも受け入れる、高校就学後も利用できる いつでも遊んで楽しく居ることが出来、おなかがすいたら食事が食べられる、しかも無料で利用できる公設民営の施設。 障害を持つ子が同じ場所に居ると不登校の子どもたちは元気になる。学校に行
--	--

	きたくない、死にたいと思っていた子どもたちが、障害で満足に食事が出来ない子どもが居ると食事をする時、手伝ってあげる事で自分でも出来ることがあり役に立つ存在だと気づく。 生きているだけで祝福される。学校の成績が良い悪いに関係なく生きているだけでありがたいと思えることが大切。 こども食堂は全国に 10,000 件もあり、子ども食堂で大切なことは「大人の良かれは 子どもの迷惑」であり、子どもが困ると親が出てきて解決してしまう。しかし子どもが求めているのは「何にもしないで欲しい」何もしないことの保証をすること。 発達障害の考え方を問い直す。何で「多動」は問題なのか、人類は古来から自然の中で身を守るため目配せを周囲にしながら生きてきた。それを小学校に入った途端、軍事教練のように「右向け右」と強制されている。時代が代わり、地球の裏側で起こったことも瞬時にわかる今なのに、教育現場は昔のままで学校教育の制度疲労だ。学校で拒否され、登校が出来ずここに来て育った子どもの得意なところを伸ばしてあげようと思い受け入れ高校から大学まで行った。子どもの権利条例案が出来て市民への発表会でのこと、子どもたちが自主的にマイクをとりメッセージを読み上げた。 <u>「子どもからのメッセージ</u> まず大人が幸せでいてください 大人が幸せじゃないのに子供だけ幸せにはなれません 大人が幸せでないと子どもに虐待や体罰が起きます 条例に子どもは愛情を以て育まれるとありますが まず家庭や学校地域の中で大人が幸せでいてほしいのです 子どもはそういう中で安心して生きることができます。」 条例を作って終わりだと思っていたが子どもたちはその先を考えていたことに驚いた。川崎の母子手帳にこの文章は書かれています。
質問	21 時まで利用できるのは珍しいと思うがなぜか？
回答	夢パークを作るときの社会情勢は、1997 年に神戸で起きた殺人事件の犯人が 14 歳、2000 年の老人殺害 17 歳、佐賀でのバスジャック事件 17 歳、条例作りの間に大事件がいくつも起きて、中高生の居場所を作ることが目的だったから午後 9 時まででにこだわり作った。
質問	通信制・単位制の高等学校へ通う者への対応は如何にすべきか？
回答	学校の受験制度が変わっていない事が問題。不登校の子どもでも入りやすい公立の高等学校を作るべきで、日本の受験は入るときに厳しくして出るときは簡単な制度では通信制に通う子どもたちが多くなることは当たり前だが、自信がついていない子どもが高等学校の通信制を卒業しても引きこもる可能性も大きい。公立の通信制を作るべきだ。
考察	夢パークについてお話を伺ったが、20 年以上の経験から様々なお話をお聞きでき大変参考になった。既存の学校や親の考え方を変えることはなかなか難しいと思うが、子どものために取り組まなければならないと感じた。私も、子育て

て時には気づかず、孫のことは一步引いて冷静に物事を見られる状況になってきたと思うが、子育て時代には子どもが他の子と違うとか勉強についていけないという心配に明け暮れていたように思う。父親が家事や子育てに参加しない場合、母親だけで悩む事が多く、当時PTA連合会では「親父の会」を各単Pで作る取組みを行ったが、個別の相談をする状況ではなかった。親のあり方、教師のあり方を勉強していきたいと考える。

長野市の SaSaLAND は、子ども夢パークを参考に建設され、令和 6 年に中間教室として始まった。信州大学の学生がスタッフとして加わるなど順調な出発とを感じるが、講師のお話の通り SaSaLAND へ行かない子どもも居ることや、長野市全体から考えると次なる施設も必要ではないだろうか。また、高等学校まで対象を広げることも検討すべきだと考える。

子どもの権利条例作りでは、親のフィルターや教師の都合の良い意見が盛り込まれないようにファシリテーターの存在が大切というお話をお聞きし、今の長野市での取組みで「子どもの意見」をどの程度聞き、盛り込まれているのか改めて確認することが大切だと感じた。自由に遊ぶ権利、自由に楽しむ権利を盛り込むために、生徒会や代表者の意見聴取だけではなく、遊びやスポーツサークルに集っている子どもたちの意見聴取も必要ではないか。

長野市では、親や教員の意見聴取をどの様に行うのか改めて確認したいと思うが、特に教員においては文科省や教育委員会から決められたカリキュラムを消化するだけでも残業など働き方に余裕のない状況にあって、素直な良い子をかかわいがることにより、勉強の出来ない子どもたちや集団行動が苦手な子どもたちの管理強化に繋がらないように注意をしなければならないと感じる。

特に IT、AI やプログラミングは現任教員では教えられず、外部講師や派遣に依らざるを得ない状況で、さらに進学を目指す子どもたちは塾に通い、通常科目についても十分教えることが出来ない教員が多くなっている現状では、文科省と県および市の教育委員会は、学校の履修科目を見直す必要性もあると感じる。

高いレベルの進学校に通うことが目的ではなく、豊かで実りのある人生をいかに楽しむかが人間の本質で、それは「玉川っこ」として教えられた田んぼに入っている田植えと稲刈りといった労作などから実感する訳で、学校現場でも農業などを積極的に取り入れ、現在の管理教育から改善し、真の教育のあり方と、人それぞれの個性を尊重できる条例作りを目指したと感じた。

1月21日	宮崎市	議会事務局 黒木啓介様、宮崎市観光商工課 安藤長様 俵迫久美様 観光商工部ということで、商工に関する取組みもしているが、スポーツランド 推進課では21名の体制で取り組んでいる。 <u>スポーツランドみやぎの推進</u> プロ野球やJリーグなどのプロスポーツキャンプの受け入れ体制を充実させ、 プロゴルフトーナメントといったスポーツイベントの開催支援を行うなど宮崎 の知名度向上と誘客促進を行う。温暖な気候で恵まれた自然環境とスポーツ施 設のPRを国内外に発信、アマチュア大会なども誘致している。さらに、スポ ーツツーリズムの推進も大会等に合わせて観光地をお勧めするなど観光資源と の連携を行っている。 アマチュア競技者はプロスポーツチームの使用したグラウンドなどを使いたい と思うもので、プロスポーツチームの招致はアマチュア大会の開催にも繋がっ ている。 第五次宮崎総合計画で、プロスポーツキャンプや合宿の誘致を図るとともに、 認知度の高いプロスポーツキャンプを生かし誘客効果の高い取り組みを推進す ることを明確化していて、本年4月より6次の計画が始まる。 令和6年度では、プロ野球7球団、Jリーグ18チームの春キャンプを実施して おり、特に一つの自治体でプロ野球3球団がキャンプをするのは宮崎市だけ。 スポーツでニッポン一番にすると知事が宣言したこともあり、沖縄に比べて宮 崎の食事が良いという評判と、晴れの日が多いため宮崎に多くのキャンプが選 ばれている。 令和6年の春キャンプ観光客数75万人、経済効果107億円。令和5年の春キ ャンプでは観光客数86万人、経済効果118億円、侍ジャパンの宮崎合宿では 観光客数18万人、経済効果22億円という実績。 新型コロナでキャンプなどが減ったものの令和6年はコロナ前の状況まで回復 し、キャンプの日程が大学入試と重なり子どもが宿泊できない状況となり、自 動車学校などの宿舎を利用した。 アマチュアのキャンプ合宿は、団体数1024団体、174,660人となっており、 宮崎県、県内市町村、民間が一体となり受け入れ体制を整えている。 年間を通じて野外でのスポーツが可能な、全国でもトップレベルの温暖な気 候。平均気候17.7度改正日数53日、日照時間2,122時間。 練習に集中でき、心身ともにリラックス・リフレッシュが可能な合宿環境（自 然 食事）など総合的にスポーツに適した環境として、宮崎がキャンプ合宿場 所選ばれている。 加えて、宮崎は神話の里といわれて、スポーツ選手は実力をつけることも大切 だが、ゲン担ぎを重要とする選手も多く。パワースポットとしての宮崎が選ば れる一つでもある。 予算面では、約15億円が課としての予算で、プロ野球キャンプ受け入れ6500 万円は、会場周辺の警備、臨時駐車場などの整備費として使われる。
-------	-----	--

	無料のシャトルバスを運行していたが、臨時駐車場からのバスは有料化を交通政策費として検討中。 プロスポーツ受け入れ団体補助事業費 3900 万円は、協力会への補助金としてパブリックビューイングなどに使用する。 スポーツ大会関連イベント 1000 万円は、青島太平洋マラソン大会やワールドトライアスロンカップに、その他の事業として、ゴルフ大会やラグビーのキャンプの際、歓迎装飾事業を行う費用、街道の桃太郎バタなどの設置に使っている。 アマチュアの団体に対して宿泊費、或いはバス代など支援をおこなっていて、宮崎牛や宮崎の特産品の進呈など様々な特典を用意している。
質問	長野市では体育館など公共施設の利用は無料だが、今後維持管理に費用がかかるため現在有料化を検討中。宮崎での状況は？
回答	宮崎では天候が良いこと温暖な気候で屋内施設はそんなに多くはない。しかし、市内施設はほとんど有料化している。学校施設も数年前に有料化しているが鍵の管理もスマートロック化した。 維持管理は課題で、雨漏りや老朽化に対する苦情も多い。
質問	アマチュア団体受け入れの支援をされているが、市内青少年スポーツ団体の育成や支援補助金などはどのようなになっているのか？
回答	ジュニアの育成として令和 8 年に国スポが開催されることで、トップアスリート育成事業として 10 年くらい前から支援を続けている。各種目に関して県大会等で A 判定の子どもたちにトップアスリートとしての育成を行っている。 全国大会の参加する子どもたちに一人 5,000 円程度の激励金などの補助金やスポーツ少年団への支援なども行っている。
考察	気候や大地の恵みである農作物などが豊かという地域の自然環境に恵まれているとはいえ、プロスポーツとアマチュアスポーツ、さらには観光資源を結びつけて、各種の取組みを集中して支援することでスポーツシティーとしてのシナジー効果を上げていると感じる。その様な施策の企画には、徹底した利用者や観光客の動向や意識の調査がなされた上での施策立案だと感じる。 さらに観光客の胃袋を刺激する、豊富な農作物と畜産物が市内飲食店や宿泊施設の食卓で彩りを発揮している状況を、視察前後の市内飲食店で感じた。 宮崎は温暖な気候でキャンプが誘致されているが、長野においては標高の高い高地での心肺能力の強化や、雨が少なく（全国でも一番降水量が少ない地域）、涼しく乾燥した自然環境でのキャンプ受け入れの可能性も大きいと感じる。宮崎以上に交通アクセスに恵まれた長野ではあるが、宮崎のような地域魅力のブラッシュアップと国民スポーツ大会に向けた施設整備により、総合的なスポーツシティーとしての取組みを企画して、国スポの折に発信することが大切だと感じる。さらに青少年アスリート養成なども早急に取り組むべき必要があり、教育委員会や地域スポーツクラブとの連携強化を企画すべきと感じた。

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 青木 敏明

※視察参加者必須

月 日	視 察 先	視察結果(参考となった事項、考察)
1月20日	川崎市	認定 NPO 法人 たまりば 理事長西野博之氏 だれもが自分らしくいられるように 夢パークの3本柱 ・子どもの活動拠点 子どもが自由に安心して集い、自主的及び自発的に活動する拠点。子どものアイデアを大事に、プロジェクトやイベントの企画運営をしている。 ・プレーパーク 冒険遊び場は、土、木や水、火や木材などの自然の素材や道具や工具を使い、子どもたちの遊び心によって自由に使える遊び場。遊びを制限するような禁止事項を出来るだけ作らない。子どもたちが自分たちでルールを決めたり、危険を判断できるようにする。 ・フリースペースえん 主に学校の中に居場所を見いだせない子どもたち、若者たちが学校外で多様に育ち、学ぶ場所。毎日お昼ご飯をみんなで作って食べる暮らしをベースにしている。 西野理事長 子どもの権利を守る条例の制定に向けて 子ども立ちはだかったおとなの「壁」 ・子どもに「権利」なんて与えると「わがまま」になる。権利を教える前に「義務」を教える。 ↓ ・子どもたちは、自分の権利が守られた経験を通して、初めて他の人の権利も考えられるようになる。 ・自分の権利が保障されるためには、他の人の権利も同じように大切にされなければならない 「権利の相互尊重」 川崎市子どもの権利条例(2001年4月施行) 第 27 条 子どもたちは、ありのままの自分であること、休息して自分を取り戻すこと、自由に遊び、もしくは活動すること又は、安心して人間関係を作り合うことが出来る場所が大切 「子ども夢パーク」づくり ⇒子どもの声を聞いてつくる 参加した子ども人数287人 アンケートによる子どもの意見のヒヤリング 1725人。 やってみたいことに挑戦できる環境づくり「けがと弁当、自分持ち」～自分の責任で自由に遊ぶ～ 子どもの遊ぶ権利 こどもにとって「遊ぶ」とは生きることそのもの⇒非認知能力を高める 安心して失敗できる環境づくり 生きづらさを抱える若者の中に「0・100」タイプの人をよく見かける 「できないことを」を受け入れる力も大切

1月21日	宮崎市	宮崎市 観光商工部 スポーツランド推進課 スポーツランドみやぎきの推進 スポーツキャンプの聖地 プロ野球やJリーグ等のプロスポーツの受け入れ態勢の充実を図ると共にプロゴルフトーナメント等のプロスポーツイベントの開催を支援する等スポーツランドみやぎきの認知度向上と誘客の促進を図る。 プロスポーツやアマチュアスポーツの大会、合宿による誘客と観光資源が連携したスポーツツーリズムの取組を推進。 プロスポーツの合宿による経済波及効果は絶大 2024年 観客者数 約75万人 経済効果 118億円 PR効果 102億円 スポーツキャンプ・合宿の実績 団体数 1024団体 述べ参加人数 174,660人 受け入れ態勢 官民一体となった受入態勢 市町村・宿泊施設・県内競技団体・競技施設 プロ野球・Jリーグのキャンプ合宿においては、チーム毎に協力会を立ち上げ受け入れ態勢を構築している。 スポーツランド推進課予算 約1,488,000千円（合宿誘致関係 約296,000千円） ※県・市・観光協会・宿泊施設の連携が素晴らしく、チーム毎に協力会を立ち上げて、官民一体で受け入れ、チーム支援を行っている。県外からのキャンプ見学・観光客の来県によって、経済が廻っている。タクシーの運転手さんに聞いたところ、1日の売り上げが1台で10万円を超える日もある。 スポーツランド推進課の主な事業 ・観光協会スポーツイベント補助事業（57,900千円） ・プロ野球キャンプ受入事業（65,000千円） ・プロスポーツ受入団体補助事業（39,000千円） ・みやぎフェニックス・リーグ開催支援事業（42,000千円）
-------	-----	---

行政視察報告書 (No.2)

(視察参加者必須)

報告者氏名 加藤英夫

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
令和7年 1月20日	川崎市 子ども夢パーク	川崎市フリースペース「子ども夢パーク」にお邪魔し、前理事長 西野様にご講演いただき、川崎市「子どもの権利に関する条例」の策定に関するお話を聞きながら、これから策定する長野市の子ども権利条例について、ヒントをいただく、アドバイスをいただくなど、多くの気づきをいただいた。委員の構成には、子どもを入れることが肝要であることを強調していた。当初大人2子ども1の割合の構成だったが、子供達が萎縮してしまったそう。その反省から、大人1子ども2にしたところ、子どもたちから闊達な意見が出始めたとのこと。また、子どもが集まるに際し、交通費、弁当を支給したところ、多くの子どもが集まったそうである。特に困窮家庭の子どもが多く集まり、貴重な意見を聞くことができたとのこと。子供達の意見として、大人たちが楽しむことが大切。それがあり、子どもたちへの虐待がなくなり、楽しく過ごすことができる。また、大人への憧れの気持ちが育まれる。 その後、子ども夢パークの理念等を含め、現状と子どもたちの成長について講演をいただいた。 子供達の居場所づくりとして、縛りがなく自由に過ごす、そして自然と子供達が集まってくる、そんな場所である。その中で、火を起こす、道具を使うなど危険と感じるようなことを敢えて行う。それにより、災害時での対応力が身につくとのこと。敢えて危険なことをすることで、危機管理能力の醸成に寄与している。 今後本市においても、公立学校に取り入れ、学校に行くことが楽しくてしょうがないような環境を作れたら素晴らしいと感じた。行きたくなるような環境づくりで、不登校の子ども数の減少につながるものと考える。 最後に、多動症の子どもを預けた母親のエピソードをきき、子どもだけでなくその親も幸せになる場であることを実感した。

1月21日	宮崎市	宮崎市役所にお邪魔し、スポーツの聖地である所以をお聞きし、スポーツキャンプ・スポーツ合宿を誘致し、もてなしているのかなど、市においても応用が可能なものがないか、調査をした。 宮崎市の国民スポーツ大会の開催が2027年、本市での開催が翌年2028年。そんなところも本市との共通点があり、ヒントにもなった。 ただし、宮崎市との大きな違いは、気候・食・宿泊など多々あり、参考とならない部分も多々あった。プロ野球のキャンプから始まったものだと思うが、サッカーにも広がりを見せ、今ではサッカーのプロチームが10チームと、野球を抜いている。その他にも、ラグビー・スピードスケート・トライアスロン・ソフトボール・ゴルフ等に広がりを見せしている。 プロチームだけでなく、企業等のチーム合宿も増えているようである。誘致のために、宿泊費の保持や、バス代の補助、特産品の贈呈など工夫をして、誘致に力を入れているようである。このような面でも予算を確保して、他市との差別化を図ることも大切であると感じた。 ただ、本市にあって、宮崎市にないものもあると思うので、検証して利用することが肝要である。 また、キャンプや合宿の誘致と同時に、大会の誘致にも力を入れているとのこと。九州大会以上のものには、100万円の補助を出している。支部局の編成、予算組、どれをとっても、スポーツによるまちづくりに力点を置いていることがわかる。予算の面では、叶わないのは明白であるが、工夫をして、長野らしいスポーツのまちができればと思う。特に、体育館やアリーナなど、屋内施設は日本有数の本市で、これを活かす方法を見出す必要があると考える。
-------	-----	---

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 本木 晋

※視察参加者必須

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
20250120	川崎市 こども夢パーク	当施設は、2001 年 4 月施行「川崎市子どもの権利に関する条例」の具現化を目指した施設であり、長野市における「子どもの権利条例」のみならず、全国で参考にされるモデルである。 多くの自治体で同条例が制定されているが、「子どもにやさしい町」は 5 自治体のみとの話は驚きである。 制定にあたっての大きな壁は、「大人による反対」であり、200 回以上の会議等によって、「権利の相互尊重」が 2000 年に市議会全会一致にて可決し、走り出せた。 壁の理由には「権利なんて与えると子どもはわがままになる」から、「権利を教える前に義務を教えるべき」との意見と、平行線が 1 番苦戦したようだ。 昨今の動きとしては、「権利を入れない」条例が多い反面、「改めて権利を入れる」動きも多くなっているとのこと。 長野市においても条例制定のトップダウンで形から入ることは 1 番の NG で、子どもの声を組み込み、実効性が担保されることが目的であることを忘れてはならない。 今回視察の夢パークの基本理念は「子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所」とし、「子どもの声を聞いて作る」ことを重要視していることが、20 年以上の公設民営方式が機能しているのだと感じる。 立ち上げにあたっては、287 人の子どもが参加し、ヒアリングは 1725 人と、本気で子どもの権利条例を具現化したい情熱が全面に出ている。子どもの参加が叶ったポイントとして、会議に参加する子どもたちにも「電車代と弁当代」を大人同様に支払う予算確保であったようで、進める時点から「子どもの権利」を尊重する試みは心温まるものだ。 試みの思いと成果としては、夢パーク運営準備会には子ども委員 34 名、おとな委員 16 名がオープンに向けてソフト面の検討をできたことだろうか。 予想外の効果は、普段ご飯を食べられないような子どもたちが参加するなど、聞くべき声の子どもたちが参加し、意見を出す機会となったことのように、条例の目的が一つ一つ具現化していたのだろうと推察する。 今回の視察では、川崎市のモデルが単に条例制定することではなく、大人が熱意をもって子どもに接することの重要性を学ばせて頂いた。

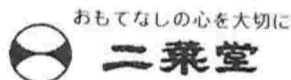
20250121	宮崎市役所	スポーツランドみやぎについて 長野市と近い 40 万人の中核市である宮崎県宮崎市では、野球の巨人キャンプで有名であるが、プロ野球 3 球団、J リーグ 12 チーム、その他プロアマ各種団体や学校など、さまざまな合宿誘致に成功し、文化の一つとなっている。 例えば 2024 年春季キャンプでは、宮崎県として 観客数 75 万人（スタジアムに入った人数） 経済効果 107 億円 PR 効果 61 億円 と、想像できないくらいの効果である。 驚きは、結果に驕らず、体制変更して更に力を入れて要ることだ。 2013 年スポーツランド推進室設置 2017 年スポーツランド推進課へ変更と同時に地域振興部スポーツ課の市民スポーツ推進係とスポーツ施設係が統合 結果、誘致係、施設係、市民スポーツ推進係となり、今まで以上に庁内で連絡が密になったようだ。 課の予算約 15 億円という金額が、宮崎市にとっていかに重要かを物語っている。 地域の特性としては、スポーツキャンプに適した気象条件は近隣市町村も同様であるがために、観光協会など、官民一体となり受け入れ態勢を整えていることが特筆すべきだろう。キャンプハイシーズンには、競技施設・宿泊施設が不足することで市民やビジネス客へのデメリットも課題であるため、県全体としての連携が必要なのであろう。 長野市で考えると、J リーグがヨーロッパに合わせて秋冬制に移行することで、夏季キャンプの誘致は最高の材料となるだろう。 宮崎県の事例を参考に、近隣市町村も同様に誘致すれば、おのずと宿泊は長野市へ流れることも想定できるので、寒冷な地域と連携することは必須である。 アマチュアの誘致も必要で、宮崎市のスポーツ等合宿受入事業では、費用 10 万円の若しくは特典として ①宿泊費補助 ②バス送迎補助金 ③宮崎県特産品若しくは飲料の贈呈 を行い、幅広く誘致していることは長野市でも真似すべきである。 なお、本事業は県や近隣自治体も行っており、重複申請が可能なことも、連携しているメリットである。 温暖な宮崎県及び宮崎市では、夏季のスポーツ系イベントが閑散期でもあり、打開策として行政主導でアマスポーツ大会を企業と主催していることは、長野市にとってもヒントになると感じる。 他自治体以上に体育館等室内施設が豊富であり、有効活用することは年間通じて誘致できると思われる。 2028 年国スポ・障スポに伴う施設改修・拡充は更に財産となり、プロアマ共に長野市での企画立案は喫緊の課題である。 今回の視察で、スポーツによるまちづくりは、チャンス到来と確信した。
----------	-------	---

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支払日	✓ 令和 7年 1月 19日			
支払先	(株)二葉堂 長野総本店			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)		新友会有志による行政視察 川崎・宮崎視察(R7.1.20~21)	3,234円 ✓
	研究研修費		※視察先手土産代	
	調査旅費			
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人件費			
	事務所費			
	その他○の経費	事務費		
			合 計	3,234円 ✓
(領収書添付欄)				



長野総本店
長野県長野市石渡54-1
026-241-2810

<< お買上明細 >>

2025年01月19日 14:53 <001-01>
担当:長野総本店

詰合せ	
※ 8%	2,625
焼菓子箱 大	
10%	363

小 計	¥2,988
消費税	¥246
合計	¥3,234
(10%対象 ¥363 税 ¥36)	
(8%対象 ¥2,625 税 ¥210)	
お預り	¥3,234

<<ポイント情報>>

前回累計	624
今回発行	104
(対象お買上額	¥2,625)

累計ポイント

会員番号
ポイントの更新には時間がかかる
ことがあります。

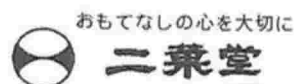
=====ポイント使用できます=====

ポイントを次回買上時に支払に充当
できます。使用しない場合は継続し
てポイント加算されます。

注)※は軽減税率8%適用商品
登録番号 T6100001005940



レシートNO. 0100183837



長野総本店
長野県長野市石渡54-1
026-241-2810

<< お買上明細 >>

2025年01月19日 14:53 <001-01>
担当:長野総本店

詰合せ	
※ 8%	2,625
焼菓子箱 大	
10%	363

小 計	¥2,988
消費税	¥246
合計	¥3,234
(10%対象 ¥363 税 ¥36)	
(8%対象 ¥2,625 税 ¥210)	
お預り	¥3,234

<<ポイント情報>>

前回累計	624
今回発行	104
(対象お買上額	¥2,625)

累計ポイント

会員番号
ポイントの更新には時間がかかる
ことがあります。

=====ポイント使用できます=====

ポイントを次回買上時に支払に充当
できます。使用しない場合は継続し
てポイント加算されます。

注)※は軽減税率8%適用商品
登録番号 T6100001005940



レシートNO. 0100183837

新友会行政視察

視察日時： 令和7年1月21日（火） 10時～12時

視察先： 宮崎市役所

視察先担当者：

議会事務局 議事調査課 担当：草野 様

宮崎市商工観光部スポーツランド推進課誘致係長 安藤 様

〃

推進課主査 俵迫 様